

関東地方		ISMSの更新準備のために SECURITY ACTIONの対策資料 を積極的に活用 株式会社クラフワーク
宣言タイプ	★★	
業種	サービス業	
従業員規模	21～50名	
業務のIT依存度	5	

きっかけ

顧問税理士の紹介。2008年に取得した情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）認証の更新準備において、SECURITY ACTIONが依拠している「中小企業のセキュリティ対策ガイドライン」が役に立つと考え、宣言した。

効果

- 「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」でリスク分析やポリシー策定の手順を学べたことで、2008年以来変更していなかった資産管理台帳やセキュリティポリシーの見直しを円滑に実施でき、内容も充実した。
- リスクアセスメントの方法を「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」に則って実施した結果、2018年12月のISMS審査で高い評価を受けた。

工夫

セキュリティは継続して取り組むことが重要であり、社員がセキュリティ事故で取引先に迷惑をかけないという意識をもって、基本的なルールを守ることが求められる。

全社員のセキュリティ意識の向上のため、セキュリティ関連の情報や留意すべき社内ルールなどについて周知を徹底している。

■ 企業紹介

これまで培ってきた医療装置の組み込みソフトウェア開発や大規模なWebシステム基盤構築のノウハウを、組み込みソフトウェアや人工知能の開発などの事業を通じて社会貢献に活かすべく、日々邁進している。

経営者・実施者のコメント



■ 経営者のコメント

大手企業との取引では、情報セキュリティ対策の実施状況が問われるため、きちんとしたセキュリティ対策が必須。

社内体制として部門ごとにセキュリティの責任者を配置し、新入社員や協力会社などのセキュリティ教育を担当させている。また、社内の人材育成のために、資格取得にも着目しており、情報セキュリティマネジメント試験などの受験を社員に奨励している。

■ 実施者のコメント

「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」には、ポリシーの策定手順などが分かりやすく説明されているので、初心者でもそのとおりに作業すれば自社の状況に合ったポリシーを策定することができる。

セキュリティポリシーの策定・公開によって、セキュリティに対する社員の意識向上や取引先からの信頼性向上に資するため、特にこれからセキュリティ対策を検討される方には、是非お勧めしたい。

対策のポイント

チェック

「5分でできる！情報セキュリティ自社診断」の25項目のチェックを情報セキュリティ担当者ではなく、一般社員が回答することによって、社内の状況を把握した。

宣言

「中小企業の情報セキュリティ対策ガイドライン」を活用し、これまで見直しができていなかったセキュリティポリシー等を改善し、宣言を実施。

宣言後

取引先からの信頼向上と社会的責務を果たすことが最重要課題。今後もIPAが提供する対策ツールや資料などを有効活用し、継続的に情報セキュリティ対策に取り組んでいく。